

明 防災・減災の 公 街づくりりに全力

長寿命化進む橋を視察

栃木・小山市

公明党栃木県議会議員会の山口恒夫会長と野澤和一、西村真治の各議員は先ごろ、党小山市議会議員会の生井貞夫会長、山口忠保議員と共に、耐震化と長

寿命化の現状と課題を調べるため、小山市内の陸橋などを視察し、県栃木土木事務所の関係者と意見を交換した。一行は、同市を通るJR水戸線に架かる陸橋を調査。この陸橋は1973年に竣工したため、2004年から08年にかけて、橋脚全体や、はり、柱の耐震化工事が行われた。

続いて、同市を流れる姿川に架かる半田橋へ。この橋の歩行者などが利用する側道部分は、10年度にコンクリートの長寿命化工事が実施されたが、車両が通る、はりの部分は計画段階で、来年度以降に耐震化と長寿命化が計画されている。

視察を終えた山口会長は「今後も、命を守る耐震化・長寿命化を推進していく」と語った。

担当者から説明を受ける
小山市議(左から2人)
と栃木県議(右隣3人)

